



ROTARY CLUB OF

NARA - WEST

DISTRICT WEEKLY BULLETIN
2650 No. 2425

2021. 12. 2

創立 1969年(昭和44年)12月13日

例会日 毎週木曜日18:00より

事務所 〒630-8001 奈良市法華寺町254番地

例会場 奈良ロイヤルホテル内

TEL 0742-34-1131 FAX 0742-30-2000

2021~2022年度
国際ロータリーのテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021~2022年度
地区のスローガン

「活力と輝き」



国際ロータリー会長
シェカール・メータ

RI第2650地区ガバナー
馬場 益弘

寺田会員
テラダ鋼業株式会社

会長 植野 洋志	副会長 安井 清悟	会長エレクト 渡邊 巖	直前会長 佃 尚彦	幹事 下村 由加里
会計 寺田 信弘	会場監督 松中 隆	理事 笹本 麻琴	理事 猪上 正孝	理事 榎木 晋作
理事 小松 玲子	会報委員長 佐川 寛一			

2021~2022年度国際ロータリー第2650地区 馬場 益弘ガバナー公式訪問特集



■公式訪問プログラム

15:30~ 16:30 平城京RC会長・幹事・役員懇談会
16:40~ 17:40 奈良西RC会長・幹事・役員懇談会
18:00~ 19:00 例会(ガバナーアドレス18:30~)

■同行者 ガバナー補佐 武藤 廣茂様
■随行者 副幹事長 児島 賢様

第12回(2425回)例会プログラム令和3年12月2日(木)

1. 年次総会
2. 開会宣言 点鐘
3. ソング 「君が代」「奉仕の理想」
4. 来訪者紹介・出席報告
5. 会長の時間・理事会報告
6. ニコニコ報告
7. 委員会報告・幹事報告
8. 卓話:「会長ノミニー挨拶」
9. 閉会宣言・点鐘
10. 山上P会長追悼式

第11回(2424回) 例会報告 2021. 11. 25
ソング

「君が代」「奉仕の理想」

来訪者紹介

馬場 益弘様 国際ロータリー第2650地区ガバナー
 武藤 廣茂様 国際ロータリー第2650地区ガバナー補佐
 児島 賢様 国際ロータリー第2650地区副幹事長
 高 麗さん 米山奨学生

出席報告

	会員数	出席計算 免除会員数	出席会員数	欠席者数	出席率
通算 2424 回	42	5/8	24/34	10	74.4%
通算2422回修正	41	8/8	33/33	0	100.0%

幹事報告 (下村幹事)

例会変更はホームページでご確認ください。

新入会



布崎 嘉樹会員
ご入会おめでとうございます。



ニコニコ報告

植野洋志会長

皆様、例会へのご出席ありがとうございます。
 本日はガバナー訪問の日です。
 馬場ガバナーさま、武藤補佐さま、児島副幹事さまよろしくお願いたします。
 また、平城京RC、佐藤会長さま、岡部幹事さま、お世話になります。

林秀彦P会長、松川信夫P会長、吉村信男P会長、三木武彦P会長、内藤源美会員、渡辺巖会員、松山悦啓会員、金田宗寛会員、東山光秀会員、福川益則会員、加藤又弘会員、山川喜平会員

馬場ガバナー、ご訪問ありがとうございます。
 布崎会員、ご入会おめでとうございます。

安井清悟P会長

馬場ガバナー御一行様、ガバナー訪問に来ていただき感謝致します。
 又、実のある会長・幹事懇談会をありがとうございます。

有馬康明P会長、猪上正孝会員、川野隆祐会員、下村由加里幹事、榎木晋作会員、笹本麻琴会員、植野教夫会員、松中隆会員、中井肇一会員、丸山佳映会員

馬場ガバナー様、武藤ガバナー補佐様、児島副幹事長様、例会ご訪問ありがとうございます。
 ご協力賜りました平城京ロータリークラブの皆様、心から感謝致しております。
 ロータリーの友情に感謝。



「ガバナーアドレス 所感」

国際ロータリー第2650地区ガバナー

馬場 益弘 様

奈良西ロータリークラブ会員の皆様、平城京ロータリークラブ会員の皆様こんにちは。

国際ロータリー第2650地区 2021-22年度 ガバナーを拝命いたしました馬場益弘です。所属は京都西ロータリークラブです。

本日は歴史と伝統に輝く、植野会長率いられる奈良西ロータリークラブ様と佐藤会長率いられる平城京ロータリークラブ様でガバナーアドレスをさせていただくことを心から光栄に思っております。晴天の中、植野会長そして佐藤会長お揃いで皆様方とともに玄関前にてお出迎えをいただきましたことにお礼申し上げます。

また、地区運営におきましても、多くの素晴らしい地区委員様に、ご支援とご協力をいただいておりますことにお礼と感謝申し上げます。

今日は武藤ガバナー補佐、児島副幹事長と一緒に訪問させていただきました。一年間、誠心誠意、懸命に努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



本年度のシェカール・メータRI会長のテーマは「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」です。そして、私のスローガンは「活力と輝き、ロータリーの基本を大切に」とさせていただきます。今日は、私にとって最も大切な公式訪問にてガバナーアドレスを皆様の前で述べさせていただけることに、あらためて心から感謝申し上げます。公式訪問は、7月8日に元RI理事・千玄室大宗匠ご出席のもと、京都南ロータリークラブから始まり、7月は順調に22クラブを訪問させていただきました。しかしながらオリンピック開催と同時に緊急事態宣言が各地に発令され、2650地区も京都府と滋賀県が含まれる事態となり、8月9日は公式訪問を延期することが余儀なくされました。延期によって各クラブ様にはご迷惑をおかけしておりましたが、この様に念願の公式訪問が再開できましたことは、私にとってこの上ない喜びであり心から感謝申し上げます。

私は京都西RCに1992年6月にお得意先のご紹介で入会させていただき、ガバナー年度内に在籍30年を迎えます。私の所属しております京都西RCは1958年2月、京都RCをスポンサーとして2650地区17番目のロータリークラブとして創立、今年度で64年を迎え、現在95名の会員が在籍しております。京都西RCからのガバナーは私で3人目になり、故足立パストガバナーと津田パストガバナーがおられます。津田パストガバナーは今年のお誕生日で98歳を迎えられました。現在もお元気で例会に出席され、私どもがご指導を仰いでおりますこと、本当にありがたく感謝しております。

私は、ロータリー活動をする上で入会以来大切にしている事があります。それは三つの健康です。少しお時間をいただき、私の実体験をもとに三つの健康についてお話をさせていただきます。

一つ目の健康は身体の健康です。2012-13年度京都西RCの第55代会長の指名を受けました時に、就任までに念のため人間ドックを受診しましたところ、結果は脳に未破裂脳動脈瘤が発見されました。脳の前交通動脈に8ミリの動脈瘤が発見され、発生場所と大きさと形状がいびつであることから医師による判断で、開頭してクリッピング術による手術が必要と宣告を受けました。ショックと途方に暮れて2か所の病院にセカンドオピニオンで判断を仰ぎましたが、いずれも同じ返答でした。さんざん悩んだ上、会長就任まで5ヶ月を残す2012年1月に意を決して手術を受けました。おかげさまで手術は成功に終わり、回復とともに病院のベッドで、仕事、家庭、ロータリー、セーリング連盟のことを考える余裕が出てきたとき、ロータリー入会以来、最大の目標としてきた例会100%出席のことが気になりました。もちろん、入院前のメーキャップは済ませておりましたが、退院後、頭にネットを被っての自クラブ例会出席は、会長就任予定者として会員の皆様に不安を与える事が心配でした。ずいぶん考えました結果、ヨットの友人が所属する大阪茶屋町RCへ、ネットを被って3回メーキャップに伺いました。友人は酒を飲んで転んで怪我をしたと冗談ぽく紹介をしてくれ気楽に訪問ができ、ロータリーの友情は本当にありがたいものだと思います。やがて頭のネットも外すことができ、念願の京都西RCの例会に出席した時の喜びは計り知れないものがありました。健康であることの喜び、例会に出席出来た喜び、クラブ会員と話ができた喜びとともに身体の健康の大切さを心から実感いたしました。

ガバナーアドレス(続き)

二つ目の健康は会社の健康です。私の職業分類は学校給食です。京都府を中心に関西圏と東京都にて幼稚園から大学までの学生食堂と給食、購買部とコンビニエンスストアなどを約1400人のスタッフにて運営させていただいております。「健康な人に健康な食事を提供し健康な利益を得、健康な家庭生活を営む」を会社指針として順調に歩んでおりましたが、昨年3月からの新型コロナウイルス感染症拡大によって新聞紙上で掲載されているとおり学内登校者は激減いたしました。皆様もご存じのとおり、緊急事態宣言が発令、そして解除の繰り返しがあり、わが社の決算での売上も激減いたしました。ガバナー・ミニの後半からコロナとの闘いが始まり、身体の健康と会社の健康そして家庭の健康からなる三つの健康を確保しないとガバナーは出来ないと追い込まれました。ところが人間追い込まれたら逆に強いもので早々と会社の骨太の方針を掲げました。1. 従業員の雇用を守る。2. みんなの会社を守る。3. 顧客からの信用を守る。などを目標にコロナに負けず、従業員と共に現在も邁進しております。この度のコロナ禍でロータリー活動を継続するためには自分の職業がいかに大切であるかということが、骨身にしみました。そして今こそ、自分の職業を通じての奉仕をすることの重要性を声大きく申し上げたいと実感しております。

三つ目の健康は家庭の健康です。ロータリー活動を続けるには家族の理解と後押し、そして家族の健康が重要です。ご家族が大病を患っておられる、或いはあってはならない事ですが、奥様から離縁状をたたきつけられてはロータリー活動どころの話ではありません。私は、幸いにも家族は健康で今のところは離婚の話も無く、愛犬とともに明るく楽しく前向きに家庭生活を送っております。

長々と申し上げましたが、ロータリー活動を長く続けることは逆に3つの健康が継続できることです。例会出席100%を最大目標にすることで病気に勝ち、やがてコロナに勝ち、明るくて楽しく前向きな人生が保てると確信いたしております。皆様とともに全ての困難に負けず「活力と輝き」を甦らせ例会出席100%を目指しましょう。

ガバナーの大切な責務の一つはRI会長のメッセージを皆様にお伝えする事です。

今年度のRI会長は、インド、カルカッタ・マハナガル・ロータリークラブのシェカール・メータさんです。シェカール・メータRI会長は「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」を、2021-22年度のテーマに掲げました。メータ会長から発信された今期の優先活動項目をお伝えします。

活動項目の1. 会員増強 120万人から130万人へ

今期の大きな取り組みの一つは、現状120万人の会員数を2022年7月1日までに130万人にするビッグなプロジェクトです。そのためには会員一人一人が、まずは一人の会員を入会させることを促されています。

活動項目2. 女子のエンパワメントに焦点を当てる

ロータリーの中核的価値観、DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)を踏まえ、不利な立場に置かれることが多い女子へのエンパワメントに取り組むことが重要とし、特に女子に焦点を当てることを示されています。発展途上国における女児の児童婚からくる貧困と識字率の低下等、多くの問題について世界中のロータリアンが手を差し伸べることです。

活動項目3. ロータリー奉仕デーの実施

ロータリーの公共イメージ向上に伴って会員増強されるという考えでロータリー奉仕デーの実施を世界中の全地区とロータリークラブに求められています。全てのロータリークラブとローターアクトクラブが、地域社会にてロータリーの重点分野とロータリーの特別月間をテーマに一般市民の参加を促すためのロータリー奉仕デーを実施いたします。

活動項目4. ポリオの完全根絶に向けて

ロータリーが世界の子供たちに約束したポリオの根絶という目標に向け、コロナに負けることなく世界中のロータリアンが根絶活動を行います。また、引き続き寄付活動の継続をお願い致します。

活動項目5. ロータリーの7つの重点分野を意識した奉仕活動

本年7月1日より、ロータリーの7番目の重点分野として新たに環境保全が追加されます。ロータリー奉仕デーでは環境を意識した奉仕活動を促されています。

以上、シェカール・メータ会長のRI方針をお伝えさせていただきました。

私は、本年度の地区スローガンを「活力と輝きーロータリーの基本を大切にー」とさせていただきます。

3つの地区重点活動方針を述べさせていただきます。

重点活動方針の1. ロータリーの基本を大切にしましょう。

ロータリークラブは100年以上にわたって四つのテスト、ロータリーの目的、五大奉仕部門を基本理念として、

ガバナーアドレス(続き)

長い年月を歩んできました。世界中のロータリアンがロータリーの基本理念を大切に、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップという中核的価値観を基に行動してきました。その間、日本のロータリーは職業奉仕と例会出席を重視していましたが、最近のRIの方向性はクラブの自主性と柔軟性を重んじることと、会員増強と財団寄付の増額を進める社会奉仕団体の方向に進んでいるような気がします。

RIの方針は時代に合わせて変化を続けており、私たちもRIの一員として時代に適応していかなくてはなりません、コロナ禍の中、今こそロータリーの基本に立ち帰る時だと考えます。

ロータリーの基本理念は奉仕と親睦であり、職業奉仕と例会出席に支えられていると思います。私たち2650地区はロータリーの基本を大切に、時代とともに進化してきたロータリーのビジョンを実現するための中核的価値観の認識、そしてDEIの実践、DはDiversity、ロータリーは多様性のもと、あらゆる背景を持つ人や幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎し、EはEquity、ロータリーはクラブ会員の公平な扱いと機会の均等を保ち、IはInclusionインクルージョン、ロータリーはあらゆる人が歓迎されていると感じ、尊重され、会員と家族を大切にされるクラブの環境づくりに力を注ぐことです。私たちはロータリーの基本を大切に、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する社会を目指しましょう。

重点活動方針の2. 活力ある輝くクラブ作りを目指しましょう。

クラブがより強固に活一杯に輝くためには、まずロータリアン自らが生業を充実させ、家族と従業員を守ることです。今こそ、原点に帰って自身の職業を天職と再認識するとともに、自身の職業を通じた職業奉仕に邁進することです。またロータリーの最大の魅力は異業種交流としてのこの様な例会出席であり、出席から生まれるロータリアン同士の友情です。あらゆるロータリー活動の主役は一つ一つのクラブであり、一人一人のロータリアンであります。今こそ、日本のロータリークラブが培ってきた職業奉仕と例会出席を大切に活力と輝きのあるクラブ作りを目指しましょう。

重点活動方針の3. 新しい環境に適応しましょう。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、各クラブが感染防止を徹底し、日常のクラブ活動を維持するために努力されていることに敬意と感謝を申し上げます。

今年度のガバナー公式訪問と地区行事はワクチン接種の効果等により、コロナが収束に向かう予定で計画を進めております。地区大会などの地区行事の開催方法はコロナ発生以前の状態に戻す予定ですが、今後の感染拡大による緊急事態宣言やまん延防止等重点処置が再発令された場合は、新しい環境に適応したハイブリッド開催及びオンライン開催をいたします。

以上、3つの地区重点活動方針を述べさせていただきました。

新型コロナウイルス感染症の影響は、医療、経済活動にとどまらず、日々の生活、働き方、教育、文化、スポーツ、地域社会に至るまで、あらゆる分野に及んでおり、私たちの日常を変えました。とりわけ、テレワークやオンライン例会等をはじめ、ICTやデジタル技術の活用が格段に進み、私たちは新しい生活様式に適応することが求められております。その一方でリモートやバーチャルではなく直接触れるこの様なリアルには格別の感動と魅力があること、当たり前であった人と人の絆や地域社会とのつながりが、極めて貴重であると強く認識されました。私たちロータリアンは、こうしたコロナ禍での変化や気づきを踏まえて、地域社会の一人ひとりの活躍につながる社会を再構築していくことが必要です。そして、コロナ終息後は、単に新型コロナウイルス感染症が確認された以前のロータリー活動に戻るのではなく、コロナ禍を機に更なる成長を遂げ、飛躍したロータリー活動を目指さなくてはなりません。

最後になりますが、私はロータリーの主役はあくまでも各地のロータリークラブとロータリアンお一人お一人と考えます。

日本のロータリークラブが培ってきた奉仕と親睦、例会出席を大切に、クラブの主体性をもとにクラブの個性を明確にし、誰もが憧れるロータリークラブを創造しましょう。皆さま、銀行にある「ATM」は勿論ご存知と思います。ATMのAは明るく、Tは楽しく、Mは前向きに、クラブ会員の皆様全員が「活力と輝き」のあるロータリーライフを継続されますことを心からご祈念申し上げます。私のアドレスとさせていただきます。

本日はお話を伺いいただき、誠にありがとうございました。



ガバナー公式訪問



第13回 (通算2426回)例会予告
例会日 令和3年12月9日(木)

「ガバナー公式訪問お疲れ様会」